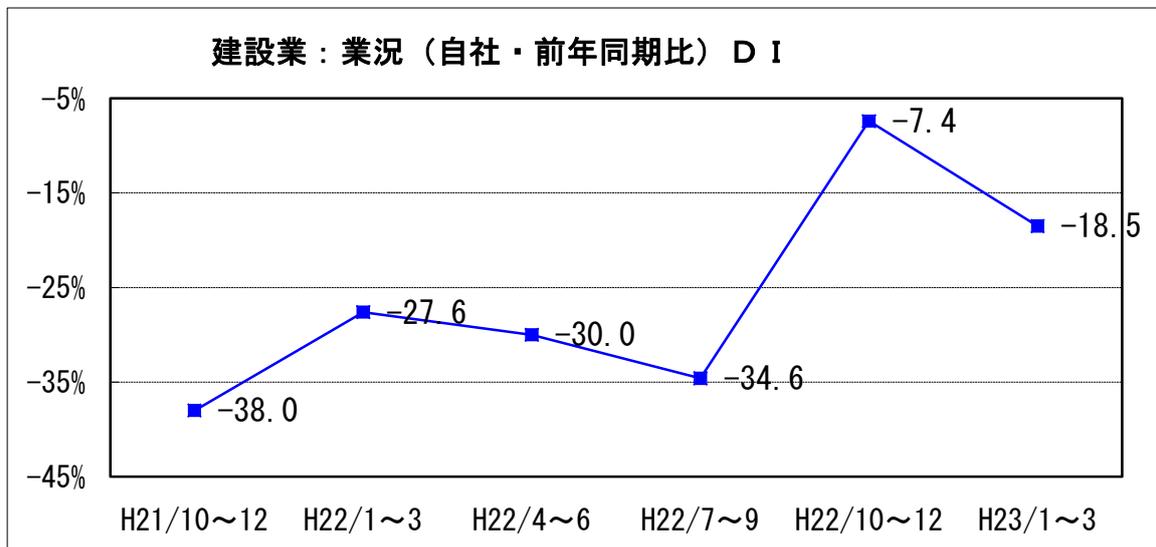


3. 建設業の動向

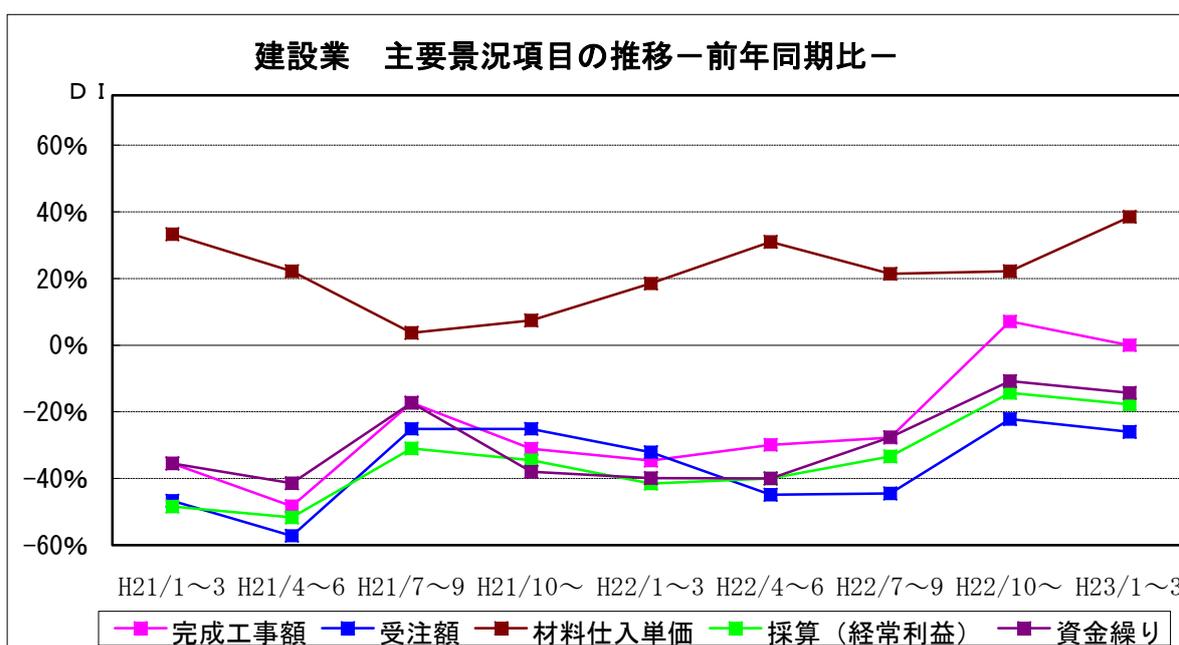
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス18.5。前期のマイナス7.4から11.1ポイント下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス23.1と悪化の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

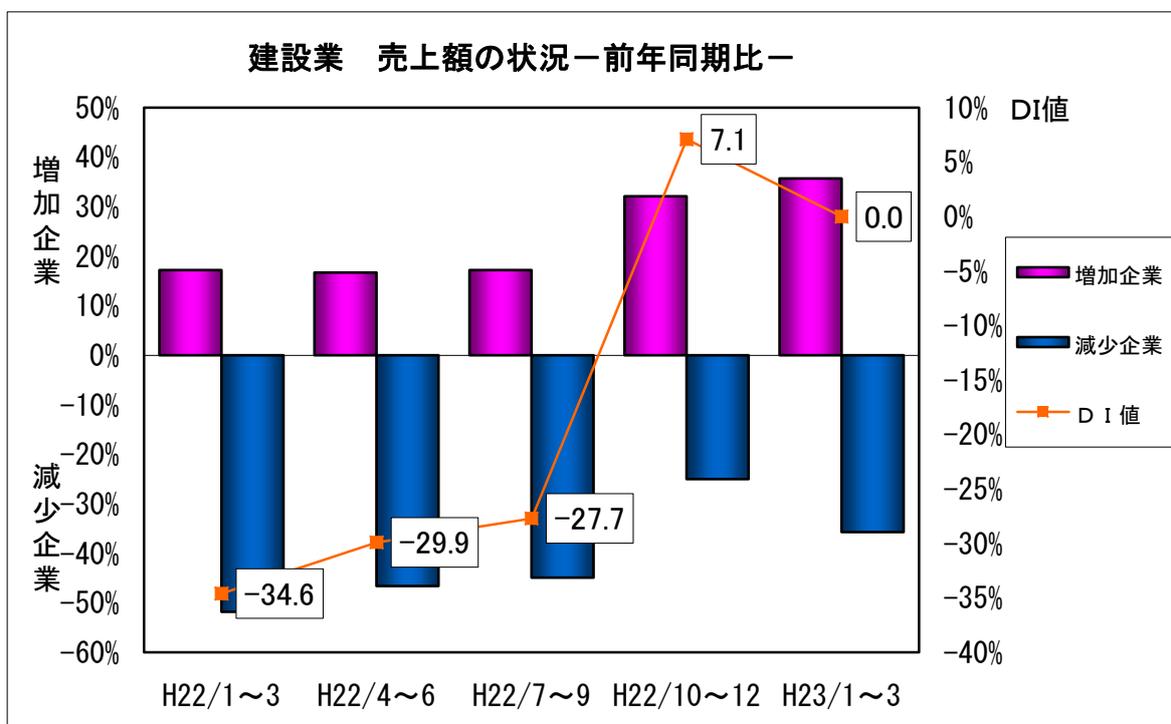
	前々期 (22年7月~9月)	前期(A) (22年10月~12月)	今期(B) (23年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲27.7	7.1	0.0	▲7.1	▲25.0
受注額	▲44.5	▲22.2	▲26.0	▲3.8	▲22.2
材料仕入単価	21.4	22.2	38.5	16.3	34.6
採算(経常利益)	▲33.4	▲14.3	▲17.8	▲3.5	▲28.6
資金繰り	▲27.6	▲10.8	▲14.3	▲3.5	▲10.7



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

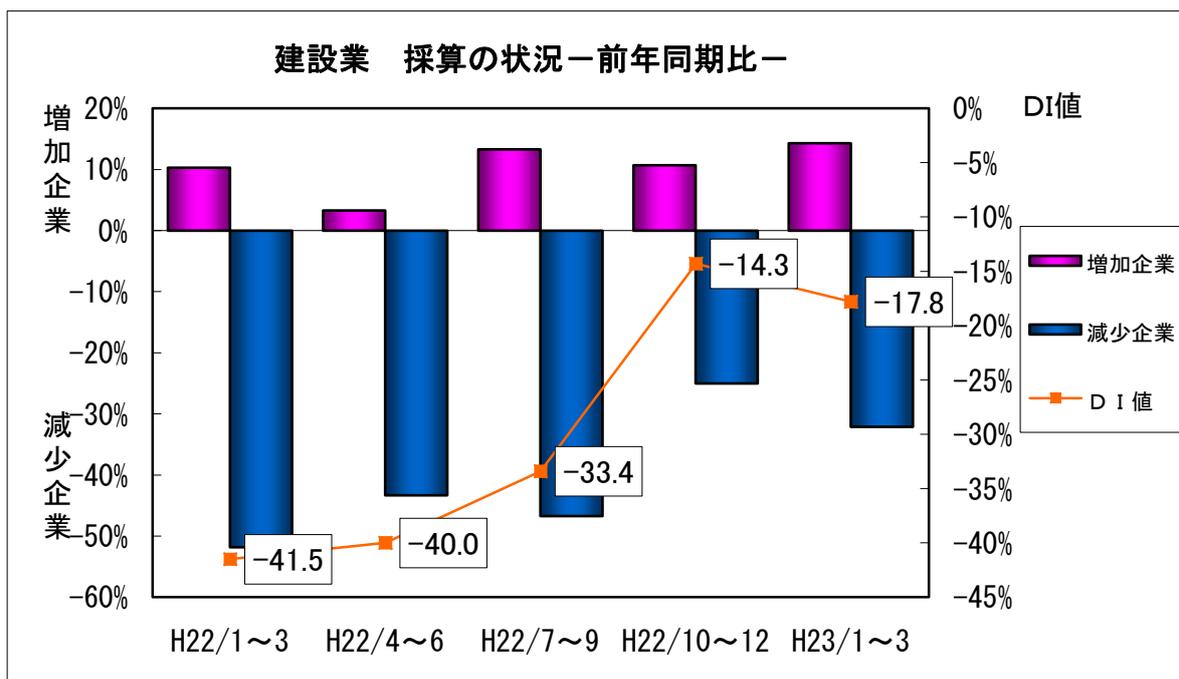
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額DI値は、0.0。前期のマイナス 7.1 から 7.1 ポイント上昇、回復。来期はマイナス 25.0 と再び大幅な悪化の見込み。



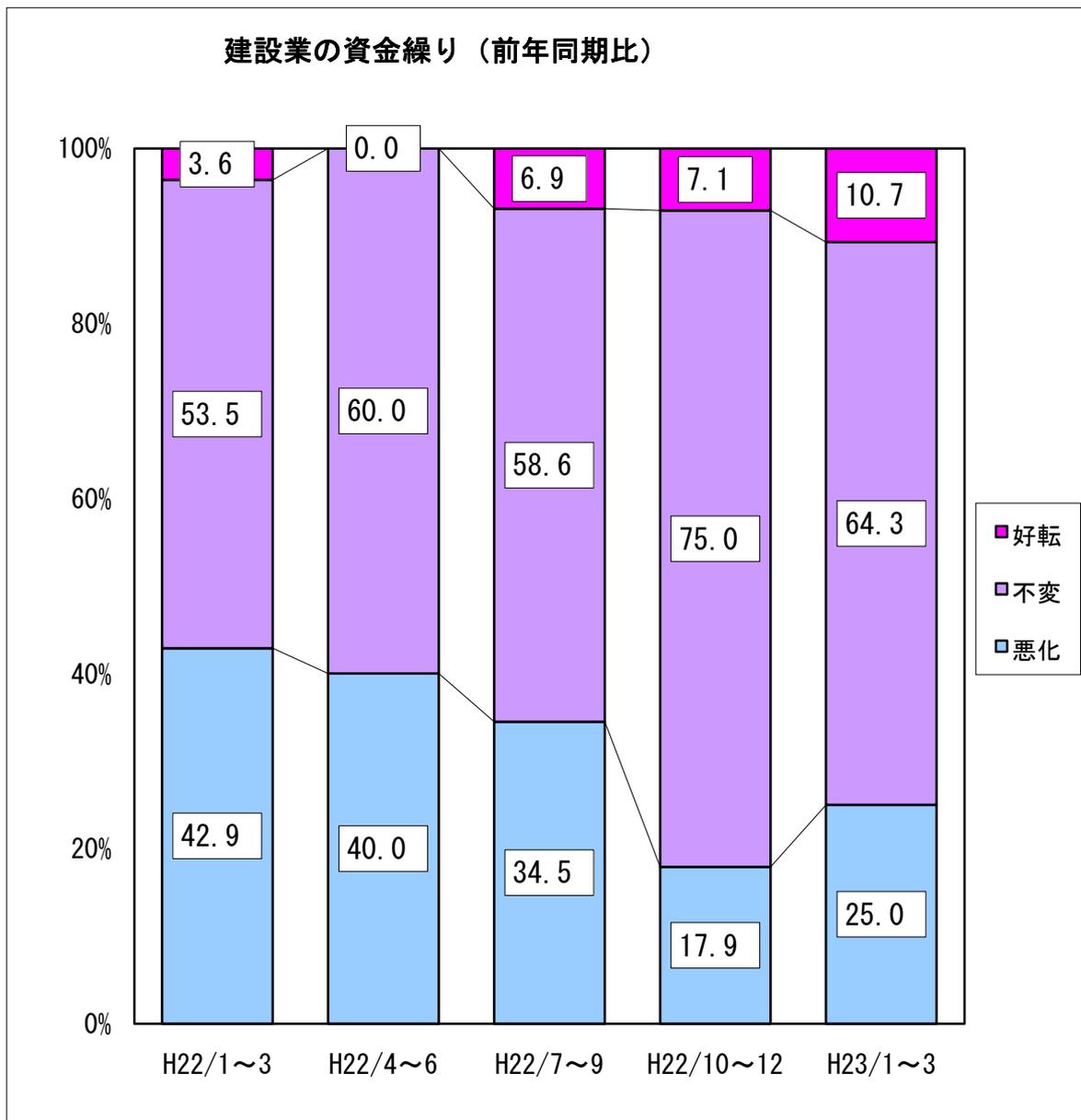
②採算 (前年同期比)

今期の採算DI値は、マイナス 17.8。前期のマイナス 14.3 から 3.5 ポイント下落、小幅な悪化。来期見通しは、マイナス 28.6 と大幅な悪化の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス14.3。前期のマイナス10.8から3.5ポイント下落、悪化。来期見通しは、マイナス10.7と回復の見込み。

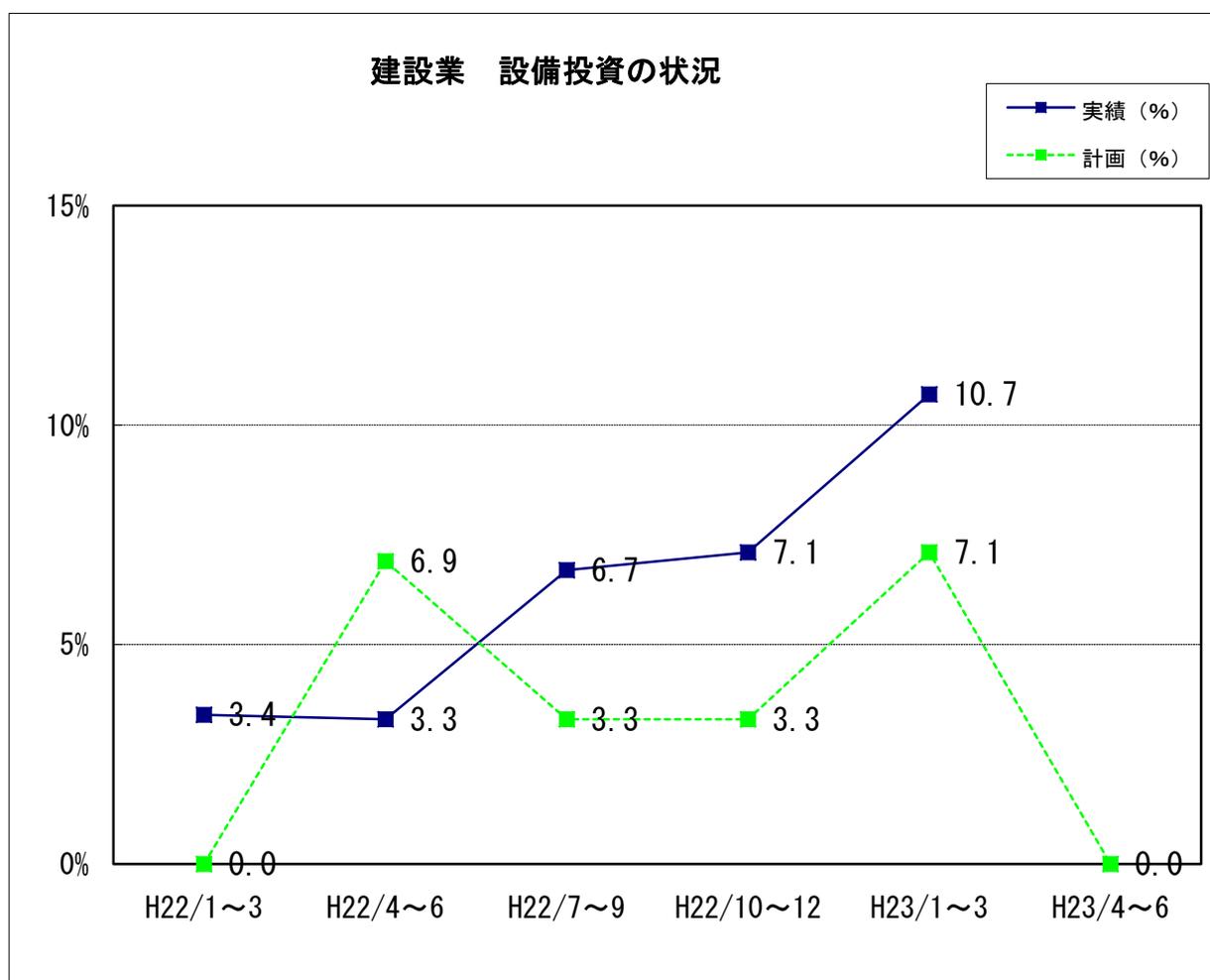


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数) (%)	3 7.1	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	26 92.9
今期実施 (実数) (%)	3 10.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	25 89.3
来期計画 (実数) (%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28 100.0

今期設備投資を実施した企業は3社（10.7%）。前期（平成22年10～12月期）の実施企業3社（7.1%）と同数で横ばい。来期の設備投資計画はない。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 73.1%→今期 72.0%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 42.3%→今期 44.0%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 42.3%→今期 44.0%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 34.6%→今期 28.0%)

となっている。

